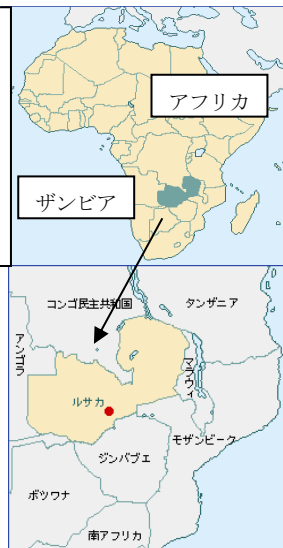


認定 NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

ORMZ ニュース第 138 号 (R5.2.15)

事務局：宮崎市生目台西 4-7-7 (メール info@ormz.or.jp) 文責：日高良雄



はじめに 立春を過ぎ暦の上では春になりましたが、まだまだ各地で雪が降っていますね。幸い新型コロナウイルス感染症は、患者数が減少し5類への移行が話題になっています。コロナと共に生活を送るようになっていくのでしょうか。

さて、今回も昨年同様、メールによる総会開催により会員全員からの承認を受けました。ORMZ ニュース第 138 号では、昨年の活動報告や決算、そして今年の活動計画、活動予算(活動計算書)をご報告、ご説明いたします。

昨年、ザンビアでの新型コロナウイルス感染症の患者数は少なくなり、1月当初は1日 500 人位でしたが、その後の患者数は数十人程度(時には0人まで)に減少したことから、1月から巡回診療活動を再開すると共に、ヘルスポスト建築準備にむけた活動も進めました。一方、問題も発生したことから、必ずしも十分な活動ができませんでした。詳しくは下記をご覧ください。

皆様には今後ともさらなるご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

会の経過報告等

・令和 5 年 2 月 5 日、理事会において 2022 事業年活動報告、決算、2023 事業年活動計画案、予算案等について承認を受けました。通常総会については、メールによる全会員への協議依頼を行い、2 月 12 日をもって、協議事項について全員から原案すべてに賛同との承認を受けました。

2022 事業年の活動報告、決算及び 2023 事業年活動計画、予算について

2022 年活動報告

(詳細はホームページ「<https://ormz.or.jp/>」をご覧ください)

・巡回診療事業 チサンバ郡ルアノ地区は月 1 回、計 11 回、サンダラ村は月 1 回、1~3 月、12 月は道路状況悪く行けず、計 8 回、ニャンカンガ地区は月 1 回、計 12 回、ルアノ郡のリテタ地区で月 1 回、1~3 月、12 月は道路状況悪く行けず、計 8 回の併せて 39 回実施し、合計 3,366 人の診療を行いました。また、巡回診療スタッフの一人であるコミュニティヘルスアシスタントのメリー氏の住むチサンバ郡チワラ地区において、抗マラリア薬、マラリア検査キット、解熱剤などを提供し、メリー氏による診療が行われました。(※診療状況の表を別途添付しています)

併せて、各地区のコミュニティヘルスワーカー(CHW)に対し、巡回診療時にマラリア検査キット、抗マラリア薬、解熱剤などを渡し、ルアノ 2,936 人、サンダラ 824 人、ニャンカンガ 4,642 人、リテタ 889 人、計 9,291 人への検査や投薬が実施されています。

・CHWの研修 後期分 10 日間を実施し、正式に 10 名のCHWが誕生しました。

・ヘルスポストの設置 ルアノ地区のヘルスポストとスタッフハウス建設の準備を進めました。

①チサンバ郡保健局の合意およびチーフ チャムカの合意を得ました

②見積書を各所に依頼し提出を受けました

③土地の手続きに向けた協議を進めています

・収入創出活動 CHW及びネイバーフッドヘルスコミッティ(NHC)の収入創出活動としてカルテ用のノートの販売を巡回診療時に行いました。

・**トイレ建設** サンダラ村の巡回診療を行う建物近くのトイレ建設については、1戸完成しましたが、ほか2戸についてはトイレ用の穴を掘り、建設作業を開始している状況です。

・**井戸掘削等** 2基の井戸掘削に関しては以下の状況です。

①サンダラ村の巡回診療を行う建物近くの深井戸については、コミュニティメンバーにより道路が補修され、業者の選定を行い契約まで行いましたが、雨季が早く始まったため掘削車が現地までたどり着くことができず、掘削は今年に持ち越しとなりました。

②リテタ村の深井戸については、道路事情が悪く掘削車が通行できない状態のため、改めてルート検討が必要な状況です。

ルアノ地区1基およびニャンカンガ地区1基の井戸修理を実施しました。

・**スタッフ勉強会** 長崎大学病院の医師が約1か月ずつ2回ザンビアに渡航され、巡回診療に同行、診療のアドバイスをいただきました。また、準医師らとの勉強会が2回開催されました。

・**広報活動** ホームページ上で活動内容を伝えるニュースを計11回配信すると共に、適宜ホームページの更新を行いました。新たにFacebookで現地の活動の様子やザンビアの情報などを投稿しました。

・賛助会員数が299名(2名増)となりました。

・事業計画にあげていた、リテタ地区での倉庫兼診察室の建物の建設は開始できていません。またCHWのリフレresher研修とNHCメンバーを含めたセミナーは実施できませんでした。

2022年決算報告

・**経常収益** 会費・賛助会費収入が3,664,604円、寄附金収入が27,108,297円(お一人から2千万円の寄附をいただきました)で、雑収益13,669円を含め**総計は30,786,570円**となりました。

・**経常費用** 巡回診療がほぼ従前通りできたことから、薬剤購入費3,396,414円(物価高騰により増加しています)、旅費交通費2,002,599円、車両維持費・保険料合計997,553円となりました。また人件費として臨時雇いの方や福利厚生費などを含め合計5,367,541円、車両の減価償却費1,283,318円などで、**総計17,493,456円**でした。

・**繰越正味財産** 古くなった車が売れたことから約85万円の資産売却益があり、結果、当期正味財産14,148,592円の増額となり、繰越正味財産は**60,804,660円**となりました。

2023年事業計画、予算

・**事業実施の方針** 法人の活動目的を達成するため、巡回診療事業、ヘルスポスト建設、地域住民への保健衛生啓発事業を継続実施します。

①巡回診療は、ルアノ、ニャンカンガ、サンダラ村、ルアノ郡リテタでそれぞれ月1回実施。サンダラ村、リテタは、雨季で通行が難しければ一時中止とします。なおこれらは使用できる車両の状況によって変更される可能性があります。

②リテタ地区で倉庫兼診察室の建物の建設を行います。

③コミュニティヘルスワーカー(CHW)の研修として5日分(小児保健分)を実施します。

④CHWのリフレresher研修とネイバーフッドヘルスコミッティ(NHC)メンバーを含めたセミナーを実施し、彼らの活動を支援します。

⑤ルアノ地区のヘルスポストとスタッフハウス建設のため、最終の手続き(業者の選定を含む)を行い、建設を開始します。

⑥CHW及びNHCの収入創出活動を実施します。

⑦サンダラ村の巡回診療の建物の近くのトイレ建設をもう2戸完成させます。

⑧安全な飲料水確保のため、サンダラ村については巡回診療の建物近くに深井戸1基を完成させ、リテタ村については深井戸1基の掘削が可能か検討します。

⑨蚊帳の配布を NHC メンバーなどを通じて継続実施します。

⑩広報活動として、ホームページと Facebook でニュースの配信・広報、活動紹介に取り組みます。

2023 年事業予算 経常収益を 11,560,000 円とし、経常費用としては、巡回診療の薬剤購入費、旅費交通費、車両維持、啓発・研修費等に加え、ルアノ地区でのヘルスポスト・スタッフハウスの建設費として約 2 千万円（①ヘルスポスト・スタッフハウス建設費用 1,830 万円、②ヘルスポスト機材費用 113 万円、③ソーラーシステム設置費用 100 万円）、さらに建設に伴う様々な事務処理のための追加の人件費を計上したことで、**総額を 43,378,818 円**としています。

2023 事業年においては、多額のご寄附により積み上がった正味財産を受け、巡回診療活動はもとより、念願のヘルスポストの設置に向け、スタッフ一同力を併せて業務を行っていきたくと考えています。

*詳しくはホームページに掲載しておりますのでご覧下さい。（<https://ormz.or.jp/>）

賛助会費の納入と寄附受領証明書の送付について

- ・2023 事業年（1 月から 12 月）が始まりました。賛助会費（個人一口 5000 円、団体一口 10000 円、一口以上）及びご寄附（金額は問いません）のご協力をよろしくお願いします。
- ・当法人は認定 NPO 法人であり、ご寄附（賛助会費含む）をいただいた際には翌年の確定申告で税制上の優遇措置を受けるための寄附受領証明書（賛助会費も寄附金と同様税控除の対象）をお届けします。
- ・ご不明の点は日高（info@ormz.or.jp または hidakal956@gmail.com）までご連絡ください。

★郵ちょ銀行からの振替 口座記号 01720-9 口座番号 126351

加入者名 NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

★他の金融機関からの送金 郵ちょ銀行 店名：一七九 口座記号：01720-9 口座番号：0126351

加入者名 NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

カナ名称 トクヒ）ザンビアノヘンチイリョウヲシエンズルカイ

令和 5 年（2023 年）も多くの皆様のご支援を心からお願い申し上げます。



*宮崎県日南市北郷駅の寒緋桜がもう咲いています。メジロが蜜を吸いに来ていました。